

みなみあいづ

議会だより

第45号

平成29年8月9日

- 新庁舎開庁、新たな議場・・・・・・・・・・2頁
- 旧庁舎50年10カ月の歴史に幕・・・・・・・・4頁
- 6月定例会・・・・・・・・・・・・・5頁
- 議案審議
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・10頁
- 5人の議員が町政を問う
- 第1回臨時会・・・・・・・・・・・・・・・・16頁
- 委員会活動報告・・・・・・・・・・・・17頁
- 議会構成が新しくなりました・・・・・・・・19頁
- 南会津地方町村議会議員大会・・・・・・・・20頁
- 町民の声・・・・・・・・・・・・・・・・・・22頁

涼しくて気持ちいい！
びわのかげ保育所 プール遊び

新たな議場へ

平成29年7月18日、新庁舎が開庁しました。
新庁舎の議場は、傍聴席からは議員と執行部が対面して見える方式となりました。

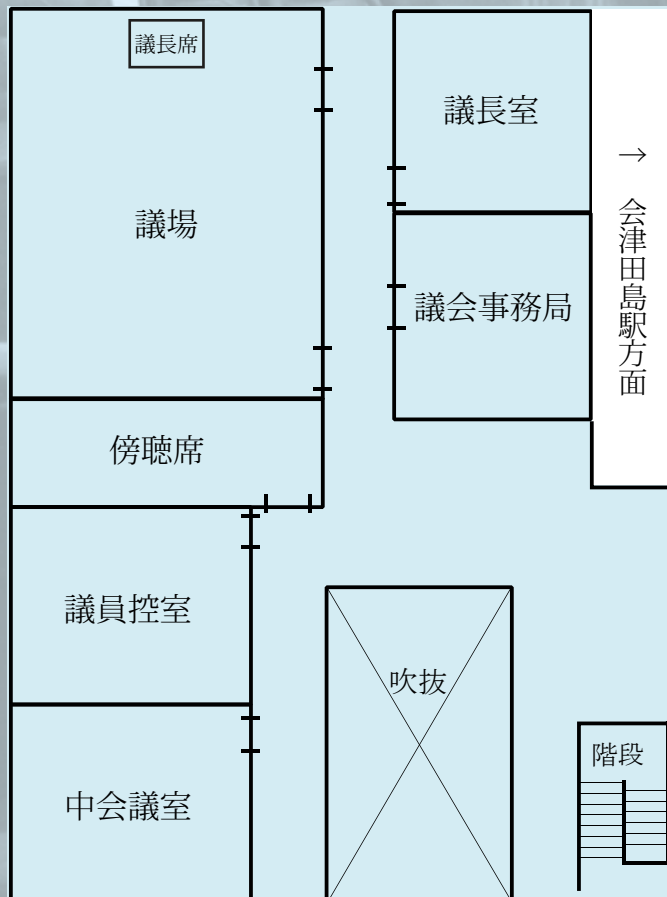


傍聴席

新庁舎開庁!



傍聴席から見た議場 正面に議長席 左側が議員席、右側が執行部席



3階 議会関係位置図

50年10カ月の歴史に幕 旧庁舎で最後の定例会



定例会閉会直後の議員席(平成29年6月15日)



議案の提案理由を説明する大宅町長



議事を進行する五十嵐議長



旧庁舎議場での定例会のようす

平成29年第2回定例会が、6月9日から15日までの7日間の会期で開催されました。町からは、条例の改廃2件、平成29年度補正予算4件、その他の議案や報告など12件が提出されました。

また、議会からは委員会提出議案3件が提出され、慎重な審議が行われました。

よりよいまちづくりをめざして、2つの町の宣言が可決されました。

議案第61号

みんなの力は地域の力、 みんなで作る協働のまちづくり

私たちの南会津町は、平成18年3月20日に、田島町、館岩村、伊南村、南郷村が合併し、誕生しました。合併から12年目となる平成29年度、より良い住民サービスの提供と効率的な行政運営を目指して、新庁舎が落成します。新庁舎は、中心市街地のシンボルとしてはもちろんのこと、町民との協働を促進するための施設でもあります。新庁舎の落成を契機として、より一層町民の皆様が主役となった地域社会を確立し、町民と行政が協力し合って協働のまちづくりに取り組むため、宣言するものです。

議案第62号

移りゆく四季、 人と自然を未来につなぐまちづくり

私たちが住む南会津町は、四季折々の豊かな自然環境に恵まれた地域です。私たちは、この地域を心から愛し、豊かな自然環境を受け継いでいくことはもちろんのこと、未来を受け継ぐ子孫のために、四季折々に変化する里山景観に磨きをかけ、地域の宝を未来永劫伝承していくため、宣言するものです。

主な質疑

議案第51号

特別職の職員で非常勤のものものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正

貝田美郎 議員

新たに設置される「鳥獣対策専門員」に必要な資格は。

農林課長

特に資格は必要ありませんが、大学で野生動物の生態学を専門に学んだ方を採用する予定です。

貝田美郎 議員

3月定例会で設置された「子育て支援専門員」との報酬月額に差があります。報酬月額の設定基準は。

農林課長

より専門性の高い職務であることから、奥会津文化財等研究員と同等と判断し、それと同額に設定しました。業務内容は、野生動物の行動パターンの調査や生息地などを踏査するほか、猟友会と連携して、効果的な有害鳥獣対策に取り組みます。

議案第52号

建設工事委託協定の締結

(公共下水道南郷浄化センター建設工事委託)

山内 政議員

工事内容と南郷地域の水処理への影響は。

環境水道課長

当該施設は供用開始が平成13年度で、耐用年数の15年を超えています。

工事の内容は、水処理機能をコントロールするための設備のほか、監視制御のための中継盤と計装盤を更新するものです。なお、地域に影響が出ないよう計画しています。



更新工事を行う南郷浄化センター

議案第54号

工事請負契約

(新庁舎建設事業旧庁舎解体工事)

大桃英樹 議員

旧庁舎解体期間中の新庁舎来庁者の駐車場は。

総務課長

旧庁舎の北側に駐車スペースを確保します。

大桃英樹 議員

解体工事後の敷地が、駐車場になるのはいつか。

総務課長

今年度は解体及び整地を行い、新しい駐車場としての舗装や区画線整備は平成30年度に計画しています。来庁者の方にはご不便をおかけしますが、駐車場の十分な情報提供や身身体障がい者の方への配慮に努めます。

議案第57号

平成29年度一般会計補正予算(第1号)

農林水産業費

有害鳥獣被害防止対策事業

増額の理由は

渡部訓正 議員

補助金の内容と増額の理由は。

農林課長

主に有害鳥獣の侵入を防ぐ電気柵の設置費



鳥獣侵入防止用電気柵

用を補助しています。

今年度に入って被害が多く、個人や集落の補助要望が多かったため、今後の補助申請見込みに合わせて増額するものです。

農林水産業費

林業成長産業化地域創出モデル事業

専門職員を配置すべきでは

星登志一 議員

町長

他自治体では、外部から専門の臨時職員を雇用し、事業終了後も、地元に着用を持ち、住み続けて、成功している事例があります。本町でも外部からの専門職員を配置する考えは。

事業を進めていく中で、より専門性が必要となれば、外部からスペシャリストに来ていただくことは重要と考えますので、事業をより具体的に進めながら、対応について検討します。



林業技術に関する研修のようす
モデル事業を活用した事業展開が期待される

商工費

伊南スポーツツーリズム推進事業

大桃英樹 議員

事業の内容は。

伊南総合支所長

平成27年度から伊南スポーツツーリズム実行委員会を立ち上げ、地域資源を活かした誘客に取り組みしており、実行委員会を中心に、

地域資源の活用方法を検討する事業と来客者のおもてなし体制を構築する事業を行い、来客者にまた来たいと思っただけのよう受入れ体制の充実に取り組みます。



伊南スポーツツーリズム実行委員会
ワークショップのようす

議案第55号 【物品購入契約】

- ◆ 契約の目的
小型動力ポンプ付積載車購入
- ◆ 契約の物件
小型動力ポンプ付積載車 2台
(館岩地域・伊南地域に各1台)
- ◆ 請負金額 1,954万8千円
- ◆ 契約の相手方 株式会社ホシノ

議案第56号 【物品購入契約】

- ◆ 契約の目的
建設機械購入
- ◆ 契約の物件
除雪ドーザ 1台
規格型式 18t級車輪式
第4次排出ガス規制対策型
本体 コマツ製 WA380-8Y
- ◆ 請負金額 2,300万4千円
- ◆ 契約の相手方
コマツ福島株式会社 会津支店

議案第63号 【工事請負契約】

- ◆ 工事名
たかつえスキー場第2レストハウス
建設事業建築主体工事
- ◆ 工事内容
木造平屋建 建築面積 459.59㎡
- ◆ 請負金額 9,331万2千円
- ◆ 工事場所 高杖原地内
- ◆ 契約の相手方 金子建設工業株式会社

議案第52号 【建設工事委託協定】

- ◆ 協定の目的
特定環境保全公共下水道南郷浄化
センターの建設工事委託
- ◆ 工事内容
監視制御設備工事一式
水処理運転操作設備工事一式
- ◆ 協定金額 7,000万円
- ◆ 工事場所 和泉田字欠間地内
- ◆ 協定の相手方 日本下水道事業団

議案第53号 【工事請負契約】

- ◆ 工事名
小豆温泉整備事業窓明の湯
建築主体工事
- ◆ 工事内容
木造平屋建て 建築面積 284.03㎡
- ◆ 請負金額 7,408万8千円
- ◆ 工事場所 大桃字駒ヶ嶽山地内
- ◆ 契約の相手方 株式会社 新井組

議案第54号 【工事請負契約】

- ◆ 工事名
新庁舎建設事業旧庁舎解体工事
- ◆ 工事内容
庁舎解体工事、駐輪場解体工事
外構解体工事、造成工事一式
- ◆ 請負金額 1億1,988万円
- ◆ 工事場所 田島字後原地内
- ◆ 契約の相手方 東邦土建工業株式会社

- 地方自治法の規定により、下記について、議会の議決が必要になります。
- 予定価格が5,000万円以上の工事、製造の請負契約
- 予定価格が700万円以上の不動産若しくは動産の買入れ若しくは売払い（土地については1件5,000㎡以上のものに限る。）
- 又は不動産の信託の受益権の買入れ若しくは売払いを伴う契約



今年度中に解体予定の旧庁舎

国へ意見書を提出

委員会提出議案第2号

採択 被災児童生徒就学支援等事業交付金の継続による被災児童の十分な就学支援を求める意見書

東日本大震災から6年が経過し、平成23年度に創設された「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」は、「被災児童生徒就学支援等事業交付金」と名称を変えて3年目を迎え、被災した子どもたちが学校で学ぶための極めて有効な支援事業として機能しています。

県内では、平成28年10月時点で約2万人もの子どもたちが県内外で避難生活を送っており、その多くの子どものために経済的な支援を必要としており、安心して学ぶことができる教育環境を提供するためには、今後も継続した長期的な支援が必要です。

「被災児童生徒就学支援等事業交付金」は非常に重要な事業であります。事業に係る予算は単年度措置のため、事業が終了もしくは規模が縮小されることとなれば、被災児童生徒の就学支援に格差が生じることも危惧されます。

よって、平成30年度以降も本事業を継続し、必要な財政措置を行い、被災した子どもたちに継続した就学支援事業を実施することを強く求めます。

県へ意見書を提出

委員会提出議案第3号

採択 県立高等学校の存続を求める意見書

福島県学校教育審議会は、今後の県立高等学校の在り方について審議し、県立高等学校改革の基本方針のうち、「1学年3学級以下の学校については地域の意見を聴き、学校の魅力化を図りながら、都市部も含めて統合を推進する。

ただし、過疎・中山間地域においては、通学可能な学校が他にないなどの条件を考慮して、1学級規模の本校化を検討する」と公表しています。

本町に存在する県立田島高等学校・県立南会津高等学校は、町全体の賑わいや活力に欠かさない大きな財産であり、資源であり、人材育成と地域発展に極めて重要な役割を担っています。

今後のまちづくりや若者定着などの活性化を図るためにも、県立田島高等学校・県立南会津高等学校の存続を強く求めます。

委員会提出議案第4号

採択 南会津2次医療圏の存続と県立南会津病院の充実強化を求める意見書

福島県では、第7次福島県医療計画（仮称）を年度内に策定するにあたり、高度な医療や特

殊な医療を除いた医療需要に対する2次医療圏である会津と南会津の医療圏を一つに統合することにより現行の7医療圏を6つに見直し、昨年度策定した県地域医療構想との整合性を図り、看護師など医療従事者の確保と医療体制の充実を進めるとしています。

県立南会津病院は南会津地方唯一の総合病院であり中核医療施設であるものの、現在の診療12科のうち常勤医のいる科は5科、他の7科は非常勤医の実態であり、入院患者の受入れに大きく影響していることから常勤医師の配置が急務と考えます。

医療過疎地に生活する住民が等しく医療を受ける権利と、若者が農山村に定住できる医療環境の確保などから南会津医療圏の存続と県立南会津病院の常勤医師配置による充実強化を求めます。

請願（陳情）書の提出方法

請願（陳情）の提出は、次の記入例により必要事項を記入し、事前に議事事務局へ連絡のうえ、提出してください。

【紹介議員】

◆請願は1名以上 ◆陳情は不要

【受理できない場合】

◆郵送などによる請願・陳情
◆町民以外から提出された陳情

平成	年	月	日
南会津町議会議長	あて	請願（陳情）者の	
		住所	
		氏名	㊟
		紹介議員（請願のみ）	
		氏名	㊟

〇〇〇〇〇〇に関する請願（陳情）

1. 請願（陳情）の趣旨

一般質問

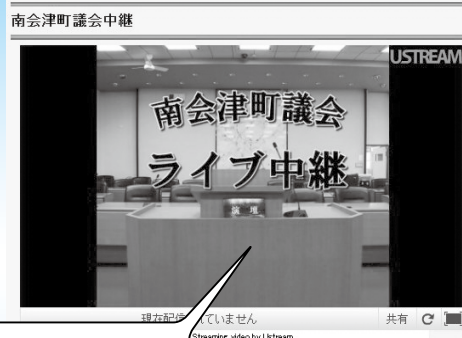


5人の議員が登壇

登壇順序・質問項目

- 1 湯田 哲 議員・・・11分**
 - ①地域創生事業「星なじょ！！」
 - ②田島ドライビングスクール前の岩場でのロッククライミングによる観光活性化
 - ③観光資源としての「鳴沼」について
 - ④豪雨災害後の町道及び林道の復旧状況
 - ⑤旧檜沢中学校の利活用
- 2 渡部 訓正 議員・・・12分**
 - ①経済活性化の一方策
 - ②キノコ原木の放射線量全数調査
- 3 室井 嘉吉 議員・・・13分**
 - ①農業法人の設立
 - ②ライスセンターの設置
- 4 丸山 陽子 議員・・・14分**
 - ①福島県環境創造センターでの学習活動
 - ②マイナンバーカード普及促進
- 5 森 秀一 議員・・・15分**
 - ①宮床湿原の駐車場新設及び登山ルートの開設
 - ②火災報知器の設置状況

議会中継インターネット配信中



ライブ中継時に
映像が配信され
ます

町ホームページへアクセス
Web アドレス <http://town.minamiaizu.org/gikai/>

平成29年6月定例会の一般質問は、14日に行われました。

一般質問は議員が町の行政全般にわたり執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

町政を問う 一般質問

福島県サポート事業「星なじよ！！」とは

町長＝「星なじよ」というキャッチフレーズを全国に発信、観光誘客に結びつけていく

問

県サポート事業での本町の「星なじよ！！会津高原星宙ナイトツアー」の詳細は。

町長

今年3月に2回、会津高原たかつえスキー場で星空イベントを開催し、各回約30名の参加があり、素材としての「星空」に手ごたえを感じました。この取り組みをさらに進めるため「^{※1}会津高原星宙プロジェクト推進協議会」を立上げ、福島県地域創生総合支援事業による高杖地区を中心に星空ツアーや人材育成のための研修会、誘客宣伝を行う計画です。

問

星空を町宣言に加えるべきでは。

町長

本議会に提案している「移りゆく四季、人と自然を未来につなぐまちづくり宣言」もあり、まずは「星なじよ」というキャッチフレーズを全国に発信し、観光誘客に結びつけていきたいと考えます。

ロッククライミングによる観光活性化を

町長＝新たな体験型観光施設としての認知度を高める

問

田島ドライブイングスクール前の岩場でのロッククライミングを本町の観光資源として進め、全国から多くのロッククライマーが訪れることで本町の観光の活性化に繋げては。

町長

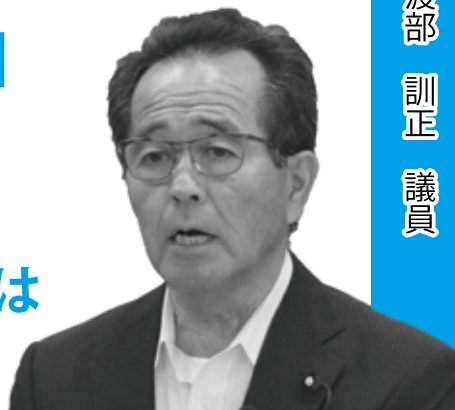
田島ドライブイングスクール前の岩場については、クライミング愛好団体である福島県山岳連盟会と山形県山岳連盟会が、中荒井財産管理組合から借地し、週末を中心に活動しています。

その他の質問

- ・観光資源としての「鴨沼」について
- ・豪雨災害後の町道及び林道の復旧状況
- ・旧檜沢中学校の利活用



田島ドライブイングスクール前の岩場のようす



他県（栃木県）雇用も検討すべきでは

町長＝地元就職を最優先に

問

本町は、積雪寒冷地、高速交通乗り入れまでの時間は1時間以上と厳しい状況にあり、企業誘致も厳しく、道路網整備も時間を要します。

このような現状の中、人口流出を食い止める対策の一方策として、近接県（主として栃木県）での雇用確保のため、行政が雇用照会等のつなぎ役を行っている。

町長

他県雇用の多くは、栃木県と考えます。

道路網整備も進み、栃木県についても通勤圏であると認識しており、本町に残る手だてとしての雇用確保も選択肢の一つと考えますが、町内企業の雇用を最優先に考え取り組みます。

問

経済圏の拡大にもなる、道路整備促進の現状は。

町長

道路網整備は、鬼怒川方面は「栃木西部・会津南道路」の早期事業化と現道整備に向け、両県・日光市と連携し

望活動を行っています。

塩原方面は、トンネルや橋梁工事の整備が進められ平成31年度に事業完了の予定です。



南会津町合同企業説明会のようす（平成29年7月25日）

南会津産キノコ 原木のブランド化を

町長＝ブランド化を目指す

問

平成28年度に「原木非破壊型検査装置」が広葉樹利用生産組合に貸付配置され、計画量を上回る稼働実績でした。

南会津産キノコ原木のブランド化には、生産量と販売量の拡大が必要と考えますが、具体的な方策は。

町長

平成28年度実績は5万本計画に対し、5万5千本、平成29年度は9万本生産に向け、町も原木生産を支援します。

県内で原木生産可能地は本町と西会津町だけであり、ブランド化に向け、安心・安全な原木提供のため、全量検査体制の構築と生産拡大を図り、全国にアピールし産地確立を目指します。



町主導による農業法人の設立を

町長＝設立に向けて検討

問

田島地域の田部集落では、

ほ場整備の工事が始まり、荒海地区の中荒井・川島・関本・小塩・古今・糸沢の6集落も、ほ場整備事業の採択に向け動いています。

こうした集落の動きは、将来に向けて農業の担い手確保や若い世代に農業を引き継ぐためには「ほ場整備」が必要との強い主張であります。

こうした集落の声に応え、町主導による農業法人を田島地域に立ち上げ、担い手対策等を含め取り組む考えは、

町長

本町の農業従事者の高齢

化は年々進み、若い世代の担い手の確保が大きな課題となっており、農業という職業が所得の向上を含めて若者にとって魅力ある産業へと成長していくことが不可欠であると考えています。

現在、その前段として集落単位の「人・農地プラン」づくりを進めているところです。

今後、集落座談会において、集落営農組織や農業法人の設立についても検討を重ねてまいります。

問

冬期間の収入確保のために除

雪車の運転免許の取得や除雪作業の確保と併せ、栽培シメジの導入などの考えは、

町長

冬期間の所得確保、林業

と連携した取り組みなど本町の実情を踏まえ関係機関の指導のもと検討します。

ライスセンターの設置を

町長＝集落の意向を聞きながら検討

問

ほ場整備実施集落へのライス

センター設置の考えは、

町長

集落の皆さんの意向をお

聞きながら検討を重ねていきます。



農地区画整理のようす（田部地区）



福島県環境創造センターでの学習活動を

教育長＝放射線教育の一環として利用

問

※福島県環境創造センター内の交流棟「コミュニティ福島」では、体験研修プログラムが整備され、子供たちに学ぶ機会を提供する学習活動事業が実施されています。

東日本大震災で、大きな影響をうけた福島は今を知り、放射線への正しい知識を学ぶ上でとてもいい機会と考えますが、教育長の考えは。

教育長

本町の放射線教育は、小・中

中学校において、年間2時間、放射線や心身の健康、安全等について学習しています。

これらの学習を深めるためにも福島県環境創造センターの利用を推奨していきたいと考えます。
なお、本年度は田島小学校の5年生が放射線教育の一環として利用する予定です。

用語

※福島県環境創造センター

福島県の「環境回復と創造」に向け、調査研究、教育・研修・交流を行う総合的な拠点として、平成28年7月に三春町に設置されました。

マイナンバーカードの普及促進を

町長

町長 Ⅱ 広報紙や窓口で普及促進

問

マイナンバーカードの交付申請手続きの負担を軽くするため、申請に必要な証明写真の撮影と手続きが一括して行える証明写真機を本庁舎敷地内に設置しては。

町長

本町の4月末現在の申請件数は1884件、申請率は11・6%です。

証明写真機の設置は、町が設置スペースを提供し、機械と設置費用はメーカーが負担する仕組みになっています。

申請率は、県内では高い方ですが、今後とも広報紙の活用や窓口での普及に努めます。



マイナンバーカード交付手続きのようす



宮床湿原駐車場の新設と新たな歩道開設を

町長＝現状の施設で誘客に取り組む

問 宮床湿原の駐車場は狭く、新たな駐車場を南郷スキー場第6リフト付近に新設すべきでは。

町長 駐車スペースが狭い状況にあります。観光客などからの苦情はありません。利用者が増えた場合は、新たな駐車場が必要であると認識しています。

問 新たに駐車場を整備し直接登山できる新ルートを整備すべきでは。

町長 宮床湿原は周辺部を含め、福島県自然環境保全地域に指定されるとともに、町の天然記念物の指定も受けております。

また、湿原入口の林道付近の斜面は地滑り

対策工事を行い、現在経過観察をしております。

このため、当面登山ルートの開設や、駐車場新設は行わず、現状の施設で誘客に取り組みます。



宮床湿原入口前の駐車場のようす

火災報知器設置の現状は

町長＝設置の呼びかけと啓発に努める

問 火災による死亡者を出さないために、報知器設置は重要です。設置率は。

町長 条例で設置基準が定められた直後の平成23年8月の調査では、74.7%です。

平成29年1月の調査では、85.2%の設置率となっております。

問 今後設置に向けた啓発・指導は。

町長 設置の呼びかけはもとより、設置が義務付けられ、10年が経過していることから、新しいものへの交換も含め、広報紙での周知や消防団・消防署と連携し、更なる啓発に努めます。

住宅用防災機器設置の義務

消防法の一部改正により新築住宅への住宅用火災報知器の設置については、平成18年6月1日から、既存住宅への設置については、平成23年6月1日からと義務付けられており、南会津郡においては、南会津地方広域市町村圏組合火災予防条例で設置基準が定められています。

町からは、議案5件（専決9件に係る報告議案1件・工事請負契約議案4件）が提出され、慎重な審議が行われました。

議案第45号

専決第6号

平成28年度一般会計補正予算（第7号）

歳入全般
町税・固定資産税

税務課長

増額となった理由は、町税は、申告額が当初の見込み額より増額となったためです。

固定資産税は、収納見込み額が増額となったためです。

労働費
原子力災害対応雇用支援事業

渡部訓正 議員

3月補正で減額していた補助金が再度増額となった理由は、

商工観光課長

事業が一部実施困難となり、3月補正では減額しましたが、福島

県より、平成28年度に交付決定した補助金全額を収入として見てほしいとの指導があり、再度計上したものです。

なお、執行残額は平成29年度中に返還手続きを行います。

4 件の工事請負契約案件を可決

議案第 48 号 【工事請負契約】

- ◆ 工事名
南郷総合センター大規模改修事業
建築主体工事
- ◆ 工事内容
内外装改修工事、エレベーター設置一式
- ◆ 請負金額 1億4,148万円
- ◆ 工事場所 山口字村上地内
- ◆ 契約の相手方 南総建株式会社

議案第 49 号 【工事請負契約】

- ◆ 工事名
南郷総合センター大規模改修事業
機械設備工事
- ◆ 工事内容
内外装改修に係る機械設備工事
- ◆ 請負金額 5,346万円
- ◆ 工事場所 山口字村上地内
- ◆ 契約の相手方 株式会社光和設備
田島営業所



大規模改修工事が行われる南郷総合センター

議案第 46 号 【工事請負契約】

- ◆ 工事名
平成27年災町道106号線道路災害
復旧工事
- ◆ 工事内容
積ブロック工、舗装工一式
- ◆ 請負金額 5,972万4千円
- ◆ 工事場所 針生字駒戸山1号地内
- ◆ 契約の相手方 南総建株式会社

議案第 47 号 【工事請負契約】

- ◆ 工事名
平成27年災町道106号線道路災害
復旧工事
- ◆ 工事内容
積ブロック工、舗装工一式
- ◆ 請負金額 1億454万4千円
- ◆ 工事場所 針生字駒戸山3号地内
- ◆ 契約の相手方 南総建株式会社



町道106号線の災害状況（平成27年9月12日撮影）

産業建設委員会

湯田賢太郎・湯田良一・森秀一
丸山陽子・星光久・阿久津梅夫

町の事業（工事）を抽出調査

5月30日・31日の両日、産業建設委員会は、平成29年度に実施する町の主要な事業27箇所を抽出して現地を調査しました。

関東・東北豪雨災害の復旧工事をはじめ、ほ場整備、町道改良、上下水道ほか、災害復旧工事の完成箇所も調査対象とし、復旧状況を調査しました。

3年目となる今年度も災害復旧工事の発注数は多く、豪雨災害による被害の大きさを感ずるとともに、一日も早い復興を目指し、ともに議会も尽力します。



現地調査のようす（番屋線 道路災害復旧工事）

文教厚生委員会

楠正次・大桃英樹・渡部訓正
高野精一・星登志一・室井嘉吉

県立高等学校の現状を確認

福島県学校教育審議会が、今後の県立高等学校の在り方について審議が行われていることから、文教厚生委員会は、5月26日、県立田島高等学校の湯田重哉校長と県立南会津高等学校の吉津三千彦校長と懇談し、現状と課題について調査しました。

いずれの高校も地域の特性をいかした学習環境づくりに取り組んでいるものの、生徒数の推移を見ると、町内から通学する生徒数は減少傾向にあります。

町にとって、無くてはならない県立高等学校について、議会としても県教育委員会の動向を注視し、存続を強く求めていきます。



県立高等学湯田校長、吉津校長との懇談のようす

尾瀬の鳥獣対策の現状を調査

駒止湿原の生態系保全のため、シカ柵の設置を検討していることから、文教厚生委員会は、7月7日、「尾瀬ニホンジカ対策協議会」主催による大江湿原シカ柵設置作業を調査しました。

平成26年度から尾瀬国立公園大江湿原の周囲に約3.5km設置されたシカ柵の効果を確認すると共にシカ柵設置作業を体験しました。

平成22年8月の大江湿原内でのニホンジカ目撃数は20頭でしたが柵設置後の平成28年8月は2頭に激減していることから効果は立証されています。

大江湿原の金属メッシュは運搬や設置および降雪前の取り外しなどコストが高むことが懸念されます。



シカ侵入を防ぐため、大江湿原の周囲を囲む柵設置のようす

議会広報委員会

森秀一・丸山陽子・貝田美郎
渡部訓正・室井英雄・室井嘉吉

町村議会広報研修会を受講

5月22日、福島県町村議会議長会主催で、町村議会広報研修会が開催され、議会広報委員が出席しました。

主催者あいさつでは、五十嵐司議長が、福島県町村議会議長会長としてあいさつを行いました。



福島県町村議会議長会長として挨拶する五十嵐議長

研修は「もっと身近に、もっと読まれる議会広報紙づくり」をテーマとして行われ、全国の広報紙の中から特徴のある事例を抜粋し、よき読みやすい編集の仕方などの解説がありました。

他自治体では、地

元住民の顔や声などを掲載し、より住民に密着した広報紙づくりに取り組んでいるところが多いことから、議会広報委員会では、今後、地元住民の紙面掲載について積極的に取り組んでまいります。



研修会受講の様子

6月定例会の結果を1会場で報告

議会報告会 (71回)

— 町民と共に歩む議会であるために —

前沢区で開催

日時	7月4日(火) 午後6時00分から
会場	前沢集会所
参加者	区長ほか4名
出席議員	貝田美郎・大桃英樹・山内 政星 光久・阿久津梅夫・星登志一
質疑事項	①請願と陳情の違いは ②第2次南会津町基本計画による今年度の動きは ③防災・無電柱化をより良い方法で
要望・意見	前沢集落は重要伝統的建造物群保存地区となっているが、少子高齢化も進んでおり、今後の空き家対策や建造物保存に係る負担が大きく、より良い方法はないか



※質疑事項および要望・意見は一部のみ掲載しています。なお、いただいた意見や要望は所管委員会で調査し、結果を区長宛に回答します。

【議会報告会を開催しませんか】

行政区長や各種団体などの代表者を通して、議会議員または議会事務局へご連絡ください。その際に、開催希望日などがあれば、併せてお知らせください。

開催時期は、定例会終了後、概ね1カ月半以内で、申込受付は先着順で3団体までとなります。

— 議会の構成が新しくなりました —

(平成29年5月12日から)



総務委員会

委員長 貝田美郎
副委員長 菅家幸弘
委員 室井英雄
委員 湯田哲
委員 山内政
委員 五十嵐司

【所管事務】

- ◆総務課・総合政策課・税務課
商工観光課・会計室の業務
- ◆選挙管理委員会・監査委員の業務
- ◆各総合支所に関連する業務



産業建設委員会

委員長 湯田賢太郎
副委員長 湯田良一
委員 森秀一
委員 丸山陽子
委員 星光久
委員 阿久津梅夫

【所管事務】

- ◆農林課・建設課・環境水道課の業務
- ◆農業委員会の業務
- ◆各総合支所に関連する業務



文教厚生委員会

委員長 楠正次
副委員長 大桃英樹
委員 渡部訓正
委員 高野精一
委員 星登志一
委員 室井嘉吉

【所管事務】

- ◆住民生活課・健康福祉課の業務
- ◆教育委員会の業務
- ◆各総合支所に関連する業務



議会広報委員会

委員長 森秀一
副委員長 丸山陽子
委員 貝田美郎
委員 渡部訓正
委員 室井英雄
委員 室井嘉吉

【所管事務】

- ◆議会の広報に関する業務
- ◆議会中継に関する業務



議会運営委員会

委員長 菅家幸弘
副委員長 湯田良一
委員 貝田美郎
委員 湯田賢太郎
委員 楠正次
委員 星登志一

【所管事務】

- ◆会議日程や議事進行の調整
- ◆議長の諮問に対する答申

組合議会の構成

南会津地方広域市町村圏組合議会議員

森秀一 渡部訓正
室井英雄 高野精一
阿久津梅夫 五十嵐司

南会津地方環境衛生組合議会議員

湯田良一 星光久
大桃英樹 菅家幸弘
楠正次 五十嵐司



渡部 訓正 議員

貝田 美郎 議員

要 望 事 項

- ① 過疎地域自立促進事業の支援
- ② 国道289号（駒止峠）無散水融雪施設設置と
国道352号（穴原～耻風間）の改良促進
- ③ 南会津2次医療圏の存続と県立南会津病院の
充実強化
- ④ 南会津地方の県立高等学校の存続

7月6日、下郷町の「下郷ふれあいセンター」で、南会津地方町村議会議長会が主催する議員大会が開催されました。

この大会は、南会津郡内4町村の議員が一堂に会して、南会津地方の諸問題を共同で解決していくことを目的に毎年開催され、今回で68回目を数えます。

大会では、本町議会から貝田美郎議員と渡部訓正議員が4つの要望事項を提案し、満場一致で決議されました。

今後は国と県に対し、実現に向けた粘り強い要望活動が行われます。

議 会 活 動 計 画

月	日	活 動 内 容	対 応 者
8	15	南会津町成人式	全議員
	18	県道黒磯田島線整備促進期成同盟会総会	正副議長・産業建設委員
	23	県道栗山館岩線整備促進期成同盟会総会	議長・産業建設委員長・沿線議員1名
9	1	南会津を拓く最重点要望事項の県要望活動	議長
	8~15	9月定例会（予定）	全議員
	10	南会津町防災訓練	正副議長・文教厚生委員

私たちが「議会だより」をつくります

議会広報委員会が新メンバーとなり初めて議会だより発行となりました。

町の議会基本条例の前文には「議会と町長は、二元代表制の下で、異なる特性をいかし、町民の意思を町政に反映させるため、競い合い、協力し合い、最良の意思決定を導く」とあります。このことから、議会の活動や

町政との対話行動は、町民の皆さまにお知らせする義務があります。

これらの内容をお知らせする方法が「議会だより」であり、編集は議会広報委員会が行います。今後とも親しみやすい議会だよりの編集を心がけてまいりますので、ご愛読よろしく申し上げます。



議会広報委員会のメンバー
町民の皆さまに親しまれる「議会だより」をめざします。

【表紙の紹介】

びわのかげ保育所



びわのかげ保育所は、平成23年4月に町立3保育所（ひかり保育所、荒海保育所、檜沢保育所）が統合した保育所であり、平成28年4月から、民営化に伴い、福島県知事の認可を受け、南会津町社会福祉協議会が運営しています。

「心豊かな子ども」「丈夫な身体」「基本的生活習慣の確立」を保育目標としています。

公民館講座の高齢者学級との交流など地域のふれあいにも取り組んでいます。



元気いっぱいプール遊びをする子ども達



会津鉄道（株）お座トロ展望列車試乗会

町民の声

南会津町へU・Iターンしてきた方へ、移住されたきっかけや町の魅力をインタビューしました。



のりやす 中島功奏さん(34)、えみ 絵美さん(32)
夫婦で茨城県から南会津町へ
Iターンし、トマト栽培を営んでおり、
現在4年目とのことです。

Q 南会津町に来られるまではどちらにお住まいでしたか？

中島さん 茨城県
のつくば市です。

Q Iターンのきっかけを教えてください。

中島さん 南郷スキー場でスノーボードのハーフパイプやパークのレイアウトを行う仕事をしていました。一緒に働いていたト

マト農家の方から、トマト栽培を勧められました。

会社勤めより、自営業をしたい考えもあったこと、夏は働いて冬はスノーボードをした夢もあったので決心しました。

Q トマト栽培にありたり、不安はありましたか？

中島さん 栽培を決心した時点では、蓄

えもありませんでした。が、国の青年就農給付金や、ハウス関係資材や機械整備費用については町から補助金をいただきました。

さらに、ハウスを建てる際には、生産組合やトマト農家の方から応援をいただき、親切にしていただいたので、特に不安はありませんでした。

Q 南会津町の魅力はなんですか？

中島さん スキー場があること、地区の方や生産組合・農家の方が親切なこと、農作物がおいしいことです。

Q 困っていること
はありますか？

中島さん 機械や資材を入れる倉庫が足りないことです。

また、Iターン者は両親や親せきが近くにいないので、子どもができたあと、何かあったときに頼む人がいない等の不安はあります。

Q 今後の目標は？

中島さん 永住を考えているので家を建てたいと思っています。

平成29年第3回定例会 9月8日(金)開会予定 新議場で傍聴してみませんか

議会を傍聴する手続きは簡単です。
本庁3階の議場傍聴席入り口で住所と氏名を書きだけです。
傍聴席では、提出された議案も閲覧できます。
新庁舎となって初めての定例会となりますので、ぜひお越しください。

【発行】福島県南会津町議会 【編集】議会広報委員会 【印刷】馬場印刷所
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲3531-1 TEL:0241-62-6310 FAX:0241-62-1288

【ホームページ】<http://www.minamiaizu.org/gikai/>